



梅島小だより

「やるべき事をやり抜く」

校長 近津 勉

「二刀流」という言葉があります。本来は両手にそれぞれ刀または剣を持って、攻守を行う技術・剣法のことを指しますが、そこから転じて、二つの異なる手段をもってことにあたること、あるいは同時に二つのことを行うことを意味するようになったものだと思います。

本来の意味では「宮本武蔵」が有名ですが、現在では「二刀流」といえばメジャーリーグの大谷翔平選手の代名詞と言っても過言ではありません。

ところで、先日日本のプロ野球界でも「二刀流選手の登場か」と話題になった選手がいました。中日ドラゴンズの「根尾 昂(ねお あきら)」選手です。彼は高校野球の名門、大阪桐蔭高校で投手、内野手、外野手をこなし、甲子園で春夏連覇を成し遂げます。そしてドラフト会議では4球団から1位指名を受け、中日ドラゴンズに入団しました。

その根尾選手は高校生の時にこんなことを言っています。「オール5を目指していたわけではなく、どの教科でも手を抜かないという意識を常にもっていました。」

人間ですから得意・不得意はあって当然です。好きなこともあれば、嫌いなこともあるでしょう。苦手なことからは逃げたくもなるし、不得意なことは避けようとしていますのが常です。それでも「どの教科も手を抜かないという意識」をもつことは、並大抵の意志の強さではないと思います。だからこそ、投手と野手という「二刀流」を可能にしたのでしょうか、その意識が、今の根尾選手にも貫かれているように思います。

彼は、こうも言っています。「勉強は好きではないですけど、やるべき事はやらないと駄目なことだとは思っています。」

やるべきことを誠実にやり抜く意志の強さを身に付けたいものだと、根尾選手の投球シーンを見ながら思いました。

教育活動におけるマスクの着用について

6月の学校だよりでもお伝えをいたしましたが、現在、学校では、「児童・生徒及び教員は、教育活動について、発話をする場合以外はマスクを着用する必要はない。」との通知のもと、下記の通り指導をすることを原則とします。

- ・登下校時や屋外で活動する場合は、熱中症事故防止を優先し、マスクを着用しないこととする。
- ・児童が授業中に発話をする場面や、屋外であっても十分な身体距離が確保できない場合はマスクを着用することとする。

※マスクの着用を必要としない場面であっても、ご家庭の判断でお子様にマスクを着用させたい場合は、そのようにお子様にお話してください。

○本校職員の産休について

凶工専科と栄養士が、8月中に産休に入ります。なお、栄養士については、現在体調不良のためお休みをいただいています。給食につきましては、教育委員会の担当課のご支援をいただきながら運営しており、引き続き安心・安全な給食の提供に努めてまいります。